

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 761 号 令和 6 年 10 月

目次

○令和 6 年度全国獣医師会会長会議・藏内勇夫日獣会長の世界獣医師会次期会長就任祝賀会・2024 動物感謝デー出席・参加報告（会長理事）	1
○山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会 令和 6 年度第 1 回会合 報告（白銀監事）	3
○令和 6 年度本会主催講習会の開催について（常務理事）	4
○新入会員紹介	
・徳山支部 有吉先生	5
・徳山支部 酒井先生	5
・山口支部 壹岐先生	5
・山口支部 小宮山先生	6
・山口支部 坂井先生	6
・山口大学支部 牛根先生	7
・山口大学支部 羽原先生	7
○リレー随筆 モンゴルの旅2024（山口支部 脇本先生）	8
○東部家保への初赴任（岩柳支部 田代先生）	9
○麻薬取扱免許をお持ちの方へ ～手続きの御案内（山口県業務課）～	10
○お知らせ 獣医学科創立80周年記念獣医学特別セミナーの開催について	11
○事務局だより	11
○産業動物講習会開催案内ポスター	12
○獣医公衆衛生講習会開催案内ポスター	13
○獣医学科創立80周年記念獣医学特別セミナー開催案内ポスター	14

令和 6 年度全国獣医師会会長会議・藏内勇夫日獣会長の世界獣医師会次期会長就任祝賀会・2024 動物感謝デー出席・参加報告

会長理事 田中尚秋

令和 6 年 9 月 20 日（金）、午後 2 時から明治記念館（東京都港区元赤坂）において令和 6 年度全国獣医師会会長会議が、また引き続き藏内勇夫日本獣医師会会長の世界獣医師会次期会長就任祝賀会が、さらにその翌 21 日（土）には駒沢オリンピック公園において動物愛護週間中央行事と合同開催となる 2024（にーまるにーよん）動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” が開催され、出席・参加しましたので、その状況を報告いたします。詳細については、日本獣医師会雑誌に掲載されると思いますので、ここでは概略の報告とさせていただきます。

— 令和 6 年度全国獣医師会会長会議 —

駒田逸哉事務局長の司会進行により会議が進められ、最初に藏内勇夫会長から挨拶があった。

- ・全国獣医師会会長に対する、多忙の中での出席、平素の支援・協力等に対する謝辞
- ・正月早々に発生した能登半島地震への対応・協力

等に対する謝意、被災者へのお見舞い等

- ・激しい雨が降り続き、再び浸水や土砂災害の危険度が高まっており必要があれば支援していきたい
- ・8 月 24 日、フィリピンのマニラで、会長を務めているアジア獣医師会連合（FAVA）とアジア大洋州獣医師会連合（CMAAO）との間でワンヘルス活動の協力等に関する覚書を交わした
- ・2026 年 4 月 21 日から 24 日まで東京国際フォーラムで 31 年ぶりに日本で世界獣医師大会を開催する予定であり、支援をよろしくお願ひしたい
- ・本日の祝賀会開催への謝意
- ・今後も地球の環境を守るべくワンヘルスに取り組んでいく、またマイクロチップの問題に対応していく
- ・明日は上野恩賜公園から、従来行っていた駒沢オリンピック公園に場所を移動し動物感謝デーを開催する。熱中症対策には十分配慮して行う
- ・来年 1 / 24 ~ 26 日は仙台市で年次大会を開催する。

多数のご参加をお願いしたい

- ・全国の会長から貴重な意見を伺いたい、等
続いて、篠原公七議長が欠席のため、副議長の
(公社)神戸市獣医師会の中島克元会長が議長と
なり議案審議が進められた。
(説明はすべて伏見啓二専務理事)

【説明報告事項】

1 マイクロチップの登録等に関する件

環境省において「動物の愛護及び管理に関する法律施行規則(以下「規則」)」に係る3点の改正が検討されている。

①犬猫の販売時の説明義務にマイクロチップ(以下「MC」)の変更登録等を追加
＜規則第8条の2(販売に際しての情報提供の方法等)第2項の改正＞

ペットショップ等の第一種動物取扱業者(販売)が犬猫を販売する際に、飼い主により確実にMCの変更登録の手続が行われるようにするため、販売時の18項目の説明義務に当該手続の方法等を追加する。

②犬の転出時における、狂犬病予防法特例制度参加市区町村への情報提供を規定

＜規則第21条の11(情報の提供)の改正＞

狂犬病予防法の特例の求めを行った市区町村に基づく犬の原簿の情報をより正確なものとするため、特例参加市区町村から犬が転出し、MCの手続が行われた際に、当該市区町村に転出を知らせる通知を行う。

③MCの脱落等における手続を規定

＜規則第21条の10(死亡等の届出)第2項及び様式28(死亡等の届出書)の改正＞

MCが脱落したとき等に所有者が行う手続が定められていなかったため、脱落など特別の事情があるときには、死亡等の届出の手続を行えるように規定する。

規則改正スケジュール(案)は令和7年3月以降施行とのことである。

2 政策提言活動等に関する件

動物愛護管理法における獣医師の役割の明確化等に関する要請を自民党動物愛護議員連盟(野田聖子会長)等あてに行った。

3 認定・専門獣医師制度に関する件

獣医療法施行規則第24条第1項2号の規定に基づく指定を受けるため、農林水産大臣あて認定要件確認機関の指定申請を行い、令和6年7月24日付けで公益社団法人日本獣医師会認定・専門獣医師協議会がその機関として認定された。

〔詳細については、日本獣医師会雑誌(Vol.77、No.9 2024、P.437-440)に掲載されているので、ご興味のある方はご覧いただきたい。〕

4 小動物獣医療における遠隔診療に関する件

日本獣医師会小動物臨床部会小動物臨床委員会(委員長:森尚志日獣理事)の報告書(中間取りまとめ)の説明があった。農林水産省は、指針策定に当たり、厚労省の既存の指針も参考にしつつ、初診からオンライン診療を行うことが可能であることを

盛り込むとしているとのことであった。

5 ワンヘルスの推進に関する件

令和5年から5年間のロードマップ作成に当たり、計画が提案され5年後に国内の半数の都道府県でワンヘルス推進基本条例の制定を目指す委員会が設置されていることを最終目標としているとの説明があった。

6 第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会

(令和6年度)の開催等に関する件

来年1月24日から3日間、仙台国際センターで開催される大会について、歓迎交流会、展示ブース出展料、講演要旨集広告協賛料等についての値上げ案が示された。

7 令和6年度動物愛護週間中央行事及び2024動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"に関する件

開催概要について説明があった。

8 第23回アジア獣医師会連合(FAVA)大会の開催に関する件

第23回FAVA大会が韓国テジョンコンベンションセンターで開催されることの紹介があった。

9 世界獣医師会大会(WVAC)の日本開催に関する件

2026年4月に開催予定の世界獣医師会東京大会について、会議運営会社の公募を行い、G7広島サミットで国際メディアセンターの設営・運営を担当するなど、多くの国際会議の経験を有し、東京国際フォーラムでも過去に多くのイベントを手掛けているという日本コンベンションサービス株式会社に決定したこと等の説明があった。

10 公益社団法人日本獣医師会 蔵内勇夫会長 世界獣医師会(WVA)次期会長就任祝賀会に関する件

本日午後5時30分から当記念館2階「富士の間」で開催するとの説明があった。

11 その他

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

第82回通常総会(令和7年6月25日(水)開催予定)では役員改選があること、等の説明があった。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

村中志朗委員長から、令和7年1月24日(金)仙台国際センターにおいて通常総会を開催する予定であること、来る参議院議員選挙(全国区)に係る推薦議員<有村治子議員推薦>の紹介等があった。

3 その他

- ・宮城県獣医師会会長から年次大会開催の案内、出席要請

- ・石川県獣医師会会長から能登半島地震発生後の現況、全国会長へ感謝の意が述べられた

- ・岡山県獣医師会会長から会員獲得のために努力されている好例について紹介された

- ・福岡県獣医師会会長からワンヘルス推進基本条例制定の効果等について説明があった

(以上、議長指名により時間調整が諮られ、閉会)

— 公益社団法人日本獣医師会 藏内勇夫会長 世界獣医師会 (WVA) 次期会長就任祝賀会 —

発起人である麻生太郎副総裁（獣医師問題議員連盟会長）、武見敬三厚生労働大臣、横倉義武日本医師会名誉会長をはじめ、来賓として坂本哲志農林水産大臣、伊藤信太郎環境大臣、自見はな子内閣府特命担当大臣、松本吉郎日本医師会会長等、多くの国会議員、行政機関等から多数の出席・挨拶があり、発起人の一人である衆議院議員の林芳正官房長官からはお祝いメッセージが寄せられた。

— 令和6年度動物愛護週間中央行事・2024動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” —

(9/21(土)10:00～16:00 駒沢オリンピック公園で開催)



ステージにおいて開会式があり、主催者挨拶、来賓（自民党総裁選に立候補中の林芳正官房長官、河野太郎デジタル大臣等）祝辞、来賓紹介があり、セーブペットプロジェクト寄付金（200万円）贈呈式があった後、砂原和文副会長が開会宣言を行ってイベントはスタートした。休日ということもあり、動物（特に犬）を連れた参加者など、多くの来客者で賑わった。中でもJRAの「馬とのふれあい／写真撮影コーナー」は、親子連れで長蛇の列ができるなど大いに賑わっていた。

<大臣等出席の会合では、要人警護の観点から、手荷物検査・金属探知機等による厳しい警備が行われていたことを付記しておきたい>

山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会 令和6年度第1回会合 報告

監事 白銀政利

山口県では、平成12年度から、県内ペット動物等の病原体や抗体等の保有状況調査と感染症情報の提供を通じた予防に関する普及啓発等を行う「動物由来感染症予防体制整備事業」を実施しています。

当該事業では、医学、獣医学等の専門家や関係行政機関の職員で構成する標記検討会を設置し、感染症の発生動向等を踏まえて、この検討会で調査対象感染症・動物種や調査地点・時期等を内容とする事業計画を策定し、病原体等の保有状況調査を実施しています。8月28日に第1回会合が開催され、県獣医師会から推薦を受け、県から検討委員として委嘱を受けた私が参加しましたので、その概要を報告します。

今年度の事業計画(案)では、イヌ、ネコを対象とし、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の調査を行うことが県事務局から示され、議論の結果、同案が了承されました。

なお、対象感染症の主な選定理由として、次の事項が事務局から示されました。

- ・県内では、毎年10人前後の患者発生が認められ、近年増加の傾向にあること
 - ・国内における致命率は27%と高く、また、令和5年の患者数は、統計開始以降最も多かったこと
 - ・動物愛護センターでは、交通事故等の成猫が多く、SFTS症状を呈するものは少ないこと
- 国立感染症研究所の前田部長の報告^{*}によれば、致

死率はネコ66%、イヌ40%と高く、ネコ-ヒト、イヌ-ヒト感染事例が2017～2021年までの間で12例示されており、その半数以上が獣医療に関係しているとの情報等を勘案すれば、当該選定は妥当と考えられます。

この検討会了承を踏まえ、県事務局から10～11月に調査を行うスケジュールが示されました。

また、収集情報の分析・評価を行うため、第2回会合をこの調査の結果が出た段階(1月)で開催されることが事務局から示されました。この際、陽性事例が確認された場合の注意喚起方法を事前に検討しておく必要があるとの委員意見が付されました。

さらに、ネコの発症例が3～5月に多いことを踏まえ、事務局から、4～6月を調査期間とした次年度計画(素案)が示されました。この素案については、協議の結果、検討会設置要綱や補助要綱等との整合を取った上で進める必要があるとの委員意見が付され、了承されました。

今後、県事務局では、調査実施要領を作成し、関係機関とも調整の上、調査を開始される予定です。

県獣医師会としては、関係動物病院とも調整を行い、この事業のPRについても積極的に参画していく必要があると感じました。

※URL：<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001164499.pdf>

令和6年度本会主催講習会の開催について

常務理事 酒 井 理

次のとおり分野別講習会を開催します。皆様の参加をお待ちしています。

①産業動物講習会（公開講座：別添募集チラシ） 参加者募集中

日 時	令和6年11月10日(日) 13:30～15:30
会 場	防長苑 2階 孔雀(山口市熊野町)
演 題	繁殖牛群における飼料由来カビ毒汚染と繁殖性への影響
講 師	山口大学共同獣医学部 副学部長 獣医繁殖学 教授 高木光博先生
参加費	無 料
申込方法	令和6年10月25日(金)までに、メール又はファックスに次の事項を記入して、本会事務局に申し込んでください。 ①氏名 ②住所(又は勤務先) ③郵便番号 ④電話番号 ⑤メールアドレス

②獣医公衆衛生講習会（市民公開講座：別添募集チラシ） 参加者募集中

日 時	令和6年11月23日(土) 13:30～15:30
会 場	防長苑 2階 孔雀(山口市熊野町)
演 題	法獣医学と動物福祉学の紹介 ～人・動物・環境の健康を守る～
講 師	山口大学共同獣医学部 One Welfare 教育研究センター 助教 牛根奈々先生
参加費	無 料
申込方法	令和6年11月8日(金)までに、メール又はファックスに次の事項を記入して、本会事務局に申し込んでください。 ①氏名 ②住所(又は勤務先) ③郵便番号 ④電話番号 ⑤メールアドレス

③第1回小動物講習会（令和6年度中国地区獣医師会連合会主催小動物講習会） 参加者募集中

日 時	令和6年12月1日(日) 10:00～16:00
会 場	山口グランドホテル 3階 末広(山口市小郡黄金町) 対面開催とオンラインの併用
演 題	てんかん治療とその周辺疾患の治療：内科と外科
講 師	日本獣生命科学大学 獣医臨床神経学 教授 長谷川大輔先生
参加費	中国地区獣医師会会員は無料ですが、それ以外は次のとおり参加費をいただきます。 ・学生：千円 ・愛玩動物看護師等：2千円 ・その他：3千円
申込方法	令和6年11月13日(水)までに、メール又はファックスに次の事項を記入して、本会事務局に申し込んでください。 ①氏名 ②住所(又は勤務先) ③郵便番号 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥参加方法(対面又はオンライン)
そ の 他	昼休憩の時間にランチョンセミナーを開催します。

④第2回小動物講習会

日 時	令和7年2月23日(日) 10:00～16:00
会 場	防長苑 2階 孔雀(山口市熊野町)
演 題	心臓の内科と外科
講 師	酪農学園大学 伴侶動物外科学 教授 井坂充宏先生
参加費	本会会員は無料ですが、それ以外は次のとおり参加費をいただきます。 ・学生：千円 ・愛玩動物看護師等：2千円 ・その他：3千円
申込方法	別途案内します。
そ の 他	昼休憩の時間にランチョンセミナーを開催します。

新入会員紹介



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会させていただきました有吉陽向と申します。高知県出身で、今年3月に山口大学を卒業し、4月より周南市のシラナガ動物病院にて勤務しています。

大学では、病理学研究室に所属していました。日々様々な動物、様々な組織と対峙するうちに病理学という学問の楽しさや奥深さを知ることができました。小動物臨床では、かわりに細胞診と対峙する機会が増え、その違いを痛感しています。臨床の現場でも病理学の視点を忘れずに活かせるようになりたいです。

休日の晴れた日は釣りやキャンプなどをしていま

徳山支部 有吉陽向
(シラナガ動物病院)

す。地元は自然環境には恵まれていたため、今でも帰省するたびに童心に返って川や海で遊んでいます。山口での生活は7年目になりますが、日本海と瀬戸内海どちらにもアクセスでき、アウトドアを楽しむスポットが豊富なところを魅力に感じています。春からは県東部に拠点を移したため、新たな場所を開拓するのが楽しみです。最近は流石の猛暑で外出に消極的になっていますが、当面はイカを釣ることを目標に頑張ろうと思います。

獣医師としてはまだまだ新米で、毎日周りの方々に助けていただければいいのですが、忙殺されることなく日々精進していきたいです。今後ともよろしくお願いたします。



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会いたしました、酒井耕平と申します。

今年度の4月より周南市のシラナガ動物病院に勤務しています。出身大学は山口大学ですが、出身地は神奈川県です。親族などおらず、山口についてはほぼ知らなかったのので、入学後早々に車の免許を取得し山口の色々な場所を周りまわりました。中でも秋吉台の夜空は地元では絶対に見られないような景色でとても感動し、在学中にも年毎に何回か見に行っていました。

ドライブは色々なところを巡る内に自然と趣味になっていきましたが、それ以外だとよくゲームをしています。1人でビデオゲームに熱中することもあります。在学中は友人と集まってするボードゲー

徳山支部 酒井耕平
(シラナガ動物病院)

ムが面白く、頻りに集まるとは夜中まで遊んでいました。同じゲームでも毎回違うパターンで考えないといけない事が多く、とても奥深く面白いものばかりでした。

卒業後の進路には、神奈川に戻るか山口に残るか悩みましたが、大学で恵まれた良縁を頼りに小動物臨床の道を選び、シラナガ動物病院へと就職させて頂きました。4月から新卒として働かせてもらって半年ほど経った今でも覚えなくてはいけないうばかりで毎日大変ですが、充実した日々を送れていると思います。今はまだ職場の先輩方のサポートを受けながらなんとか日常の業務をこなしていますが、いずれは皆に頼りにしてもらえよう獣医師になれるよう頑張ります。獣医師会の皆様、これからよろしくお願いたします。



はじめまして。この場をお借りしてひとこと自己紹介申し上げます。この度山口県獣医師会に入会いたしました、壹岐眞帆（いきまほ）

山口支部 壹岐眞帆
(中部地区家畜診療所)

と申します。名前の漢字が難しく読みづらいと思いますが、覚えていただくと嬉しいです。2024年4月に新卒として山口県農業共済組合 中部地区家畜診療所に入社しました。

出身は宮崎県で、今年3月に山口大学を卒業しました。大学では薬理学研究室に所属し、毎日細胞培養を行い、細胞内シグナル伝達についての研究をしていました。趣味は音楽鑑賞で、ライブには1年に4回程度行っています。ちなみに、櫻坂46というグループが好きなのですが、どの曲も生きる活力を与えてくれるのでぜひ聞いてみてください。

さて、最後に今後の抱負についてお話ししたいと思います。獣医師として、そして何より新社会人として働きはじめて早くも6カ月。在学中の大動物実



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会させていただきました小宮山と申します。

今年4月から山口市仁保にありません株式会社秋川牧園で獣医師として勤務しています。

出身は北海道札幌市です。大学も酪農学園大学であり、道外での生活は初めてでワクワクしています。大学では獣医薬理学研究室に所属し、ゼブラフィッシュを用いた発生毒性試験をテーマに日々研究を行っていました。

鶏に触ったこともなく、獣医師としてまだまだ未熟者ですが、農場の方含め多くの人に支えられながら、日々励んでいます。会社の農場は山口県だけではなく、島根県、福岡県、大分県、熊本県にもあります。長距離の移動をすることがあり、体力的にもなかなかタフな職場です。しかし、その分たくさん



はじめまして。この度、山口県獣医師会に入会させていただきました坂井と申します。今年2月より、西京の森どうぶつ病院で勤務を開始し、地域の動物医療に貢献すべく日々努めております。出身は

山口市で、山口高校・山口大学を経て、大学では獣医寄生虫病学研究室に所属し、魚に寄生する粘液胞子虫について研究してまいりました。

2019年に大学を卒業後は、福岡県にて小動物臨床の経験を積み、昼は犬猫だけでなくエキゾチックア

習がとても楽しく牛の獣医師になりたいと思い志願したものの、初めは慣れないことばかりで頭がパンクしそうでした。今はひたすら症例を積み重ね、診断や治療処置の選択について先輩獣医師に相談したり、教科書や文献などで勉強しつつ、実践を繰り返しています。まだまだ未熟な私ですが、日々知識と技術を磨き、農家さんから信頼される獣医師になれるように明るく元気に頑張ります。獣医師会の皆様、これからよろしくお願ひいたします。

山口支部 小宮山 暁 史
(株式会社秋川牧園)

の農場を見ることができるので、一人前に早く成長できるぞと自分を奮い立たせています。

最近熱中していることはフットサルです。サッカーを中学生までやっていましたが、久しぶりにボールを蹴るとあらぬ方向へ飛んでいくのが悔しいです。今は会社の人と週1回ほどフットサルで汗を流しています。大会に出るのが目標になっています。

また音楽も好きで大学生からエレキギターを始めました。まだまだ、下手くそで時間を見つけては練習をしています。洋楽から邦楽まで幅広く聞き、大学生の時、BON JOVIのライブを大阪に見に行ったのは密かな自慢です。あと、Oasisが再結成したことが最近のビッグニュースですね。お会いすることがあれば音楽の話もできれば嬉しく思います。

新参者で至らぬ点も多いかと思いますが、獣医師としての責任を果たせるよう日々精進していきますので宜しくお願ひ致します。

山口支部 坂井 晴 哉
(西京の森どうぶつ病院)

ニマルの診療も学び、夜は夜間救急で救急医療についてのスキルを磨いてきました。現在は、日本獣医エキゾチック動物学会やSCAPARA(爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会)などに所属し、ウサギやシマリス、フトアゴヒゲトカゲやヘルマンリクガメ、ダイヤモンドバックテラピンなどの症例報告を行っています。

私の目標は、エキゾチックアニマルに関する最新の情報を基にした診療を行い、また積極的に情報発信を通じて獣医療の向上に貢献することです。山口県内の皆様と共に、より良い動物医療の実現に向けて努力していきたいと考えております。

私生活では、3歳の息子と8ヶ月の娘がおり、毎日慌ただしくも充実した日々を送っております。家族の支えを受けながら、獣医師としての成長を続けていきたいと思っております。また、2025年には動



この度山口県獣医師会に入会いたしました牛根奈々と申します。今年4月から山口大学共同獣医学部で勤務しています。これまで暮らしていた地域と山口市では、衣食住全てに少しずつギャップがあり、新しい土地文化に触れながら日々過ごしています。

思考の中心が野生動物の私にとって、山口県のイメージは「ダニ媒介感染症が発生する地域（※全動物種で最多というわけではございません）」「希少ツル類の越冬分散候補地」でした。特に後者は、近年の鳥インフルエンザの発生状況を鑑みますと、喫緊のテーマであると捉えています。人が渡り鳥に越冬地を指定し、強いることはできません。渡り鳥に選



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会させていただきました羽原誠と申します。

2019年より山口大学 共同獣医学部 獣医生化学研究室に特命助教として着任し、2023年に同研究室の助教を拝命し今に至ります。出身大学は日本獣医生命科学大学で獣医学科を卒業後、同大学大学院博士課程に進学して学位取得後、縁あって山口大学に赴任いたしました。大学院では獣医生化学研究室に所属し、伴侶動物、特にネコにおける肥満関連遺伝子の機能解析と多型解析を行っていましたが、山口大学では上司の研究内容に合わせてヒトのがんの研究を行っています。現在はがんの治療法開発を目指してがん悪性化因子の機能解析を主にしています。幸いなことに山口大学を含む複数の機関から研究支援をしていただき、学生さんや研究環境にも恵まれ、新たな抗がん剤開発に向けて研究に励む日々を送っております。現在はヒトを対象とし

物病院の開業を予定しており、その際にはぜひご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

山口大学支部 牛 根 奈 々

(山口大学共同獣医学部)

ばれる環境を人が整える必要があります。鳥の種類によって適当な環境要素は異なりますし、その環境に人が生活する場合は、当然ながら人の暮らしも尊重しなければなりません。このテーマは、ワイルドライフ・マネジメントにOne Welfareを組み込んだアプローチで、取り組みたいと考えております（経緯や土地に詳しい先生、そして地域の方々に、是非ともお話を伺いたいです）。

入職後はこれらに加えて、鳥獣対策や適正飼養など、人と動物の共生を目指すうえで取り組むべきテーマが、多く潜在する地域であると実感しております。先生方にお力をいただきながら、山口県を動物と人が共に暮らしやすい地域（日本の中のモデル地域）になるよう、地域に貢献して参ります。

山口大学支部 羽 原 誠

(山口大学共同獣医学部)

ておりますが、いずれは伴侶動物まで対象を広げ獣医療に研究成果を還元していけたらと夢見ております。

5年前に妻とモルモット1匹を連れて山口を訪れましたが、今では4歳の息子、ネコ2匹、リクガメ1匹、沢山の昆虫(クワガタ、カブトムシ、ハナムグリ)と家族が増え賑やかな日々を送っております。休日にはお出かけ大好きな息子を連れて、山口県内を飛び回っています。山口市より西側は色々行ったのですが、東側にはなぜかあまり行けていないので、まずは有名な錦帯橋に行ってみようと思っています。山口は子育て支援が手厚く、自然も豊かでのびのびと過ごすことができるので山口で子育てができて良かったと感じています。

若輩者ではございますが、山口大学の研究と教育ひいては山口県の獣医療に精一杯の貢献を果たせるよう努めてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

リレー随筆

モンゴルの旅2024

山口支部 脇本 雄樹
(西京の森どうぶつ病院)

7月、すっかり期限切れとなっていたパスポートを数年ぶりに取り直し、久しぶりの海外（モンゴル）へ行ってきました。

モンゴルは、今回で二度目。前回と同様に、ビルやホテルが立ち並ぶウランバートル市内には、ほとんど滞在せずに、目指したのは大草原の地。

山口から約1日半かけて到着した「ウンドウルシレット」。ここは、映画『白い馬』の撮影地となったモンゴル随一の大草原。もちろん、ビルやホテルはなく、ゲルが少しあるだけで、見える景色は大草原と小高い丘と家畜。



①ウンドウルシレットの
キャンプ場

今回の旅の目的の一つは、デジタルデトックス（電子機器に触らずに過ごすこと）。成田空港を発ってからの三日間は、大自然や現地の方と向き合い、携帯電話はカメラとしてのみ使用して、完全にデジタルデトックスをした。ここでは携帯から流れる音楽も、目覚まし機能も要らなかった。

モンゴルは、日本に比べて日が長い。日没後も21時頃まで明るいので、18時頃の夕食から約3時間、ゴールデン・ゴビ（モンゴルのビール）がたくさん飲んでしまう。22時くらいになると辺りは暗くなり星空へと変わる。携帯もパソコンもない草原に横たわり、星空をずっと眺めていられた。写真では伝えられない満天の星空で、天の川も見ることができた。

寝泊まりしたゲルには、ベッドも布団もあり、とても快適だった。朝5時前には辺りが明るくなり、自然と目が覚める。大草原でコーヒーを飲みながら見た日の出も格別だったなあ。

旅の目的の二つ目は、乗馬。ここでの乗馬は、片手で手綱を持ち、もう片手に鞭を持つモンゴル乗り



②大草原で乗馬

ができる。落馬や事故は自己責任ではあるが、元遊牧民のモンゴル人と一緒にひたすら二日間、大草原をギャロップしたり、駆けまわったりすることができた……最高でしかない時間を過ごせた。

さらに、もう一つのお楽しみがあった。実はモンゴルで唯一、熱気球フライトが楽しめるのが、ここウンドウルシレット。ここでは、風が穏やかになる早朝か夕方にだけ、熱気球がフライトをすることが



③フライト直前の熱気球

できる。ウンドウルシレット最終日の夕方にそのチャンスはきた。徐々に高度が上がって800mもの高さへ。空から見る大自然も日の入りもけっこう興奮した。

結論、自分はモンゴルがすごく好きだ。そして次回はジャルマンで馬に乗りたい。

話は少し変わるが、モンゴルの人たちは肉が主食であり野菜を食べないため、平均寿命が短いらしい。確かに、元遊牧民の人たちに聞くと、やはり肉ばかりを食べ、野菜はほとんど食べない（植物は家畜が食べるものだ）と言っていた。よく考えてみると、ウンドウルシレットでは、見渡す限り草原と放牧されている家畜（牛・馬・山羊・羊）ばかりで、木は一本も生えていなかった。たしかに北のロシア側には木が生えているエリアもあるが、ツンドラという厳しい条件だし、南の中国側は砂漠地帯（ゴビ砂漠）が広がっている。そもそも畑も田も作るのが難しい国なのだろう、、、と。帰国後、雑草も含め草木が生え、野菜や果物や米も作れる日本の有難さを噛みしめ、自分がとても幸せであることを再認識した。

次回は、モンゴルへ行く飛行機（山口宇部→羽田）で偶然隣の席だった、さかた獣医科の阪田昭次先生にお願いします。阪田先生は、山登りへ行くところだったようで、次回はその話もしていただきたいと思っています。



④モンゴルが大好きです

東部家保への初赴任

岩柳支部 田代久宗

（柳井農林水産事務所畜産部）

9月も半ばに入ったにもかかわらず、猛暑日が続く残暑厳しい日々ですが、皆さん、お元気に過ごされていますでしょうか。4月より岩柳支部に異動となった田代です。

今年度から初めての東部地域での勤務となり、諸事情により現在の住居である小郡から片道1時間半をかけて通勤しています。初めのころは、長距離通勤に慣れていなかったこともあり仕事前から若干疲れを感じていましたが、半年たった今では体も今のリズムに慣れ始め大きな問題なく勤務に就けています。

久しぶりの防疫業務なので覚えなおすことも多く、今でも周りの方に手伝ってもらいながら、忙しい日々を送っています。中でも、外回りの仕事が増えたことが一番変わったことで、昨年度までの病鑑業務で鈍った体では体力の消費が段違いになりました。自分の予定ではそれをうまく利用して痩せる予定だったのですが、なぜか体重は増えていくという人体の不思議を痛感しています。それでも繁殖検診や注射、採血など生きた動物に触れる機会が増えたのはやはり獣医師としてはうれしい体験です。検査の仕事も性には合っていました、牛に踏まれるのもたまには良いものです。

まだ勤めて半年弱ですが、東部地域は事前に聞いていた通り優しい人が多い印象です。都市部も一部を除いてはそれほど人もごちゃごちゃしてなくて、全体的にゆったりとした時間が流れている感じがしま

す。巡回していると温泉も多そうで、余裕があるときに午後休みを取って巡ってみたいと思っています。どのくらいこちらでの勤務が続くかは分かりませんが、通っている間に東部のいろんな魅力を見つけて、満喫したいです。

最後に引っ越ししない理由の一つである、愛猫のご紹介をしておきます。学生時代から飼っているので、二匹とも鳥取県産です。黒猫が12歳、キジトラが10歳で、そろそろ高齢猫になりつつありますが、まだまだ元気です。お互い不干渉なので仲睦まじいとは程遠いですが、自分には懐いてくれているのでいつも癒されています。この子たちのためにも長距離通勤、頑張ります！

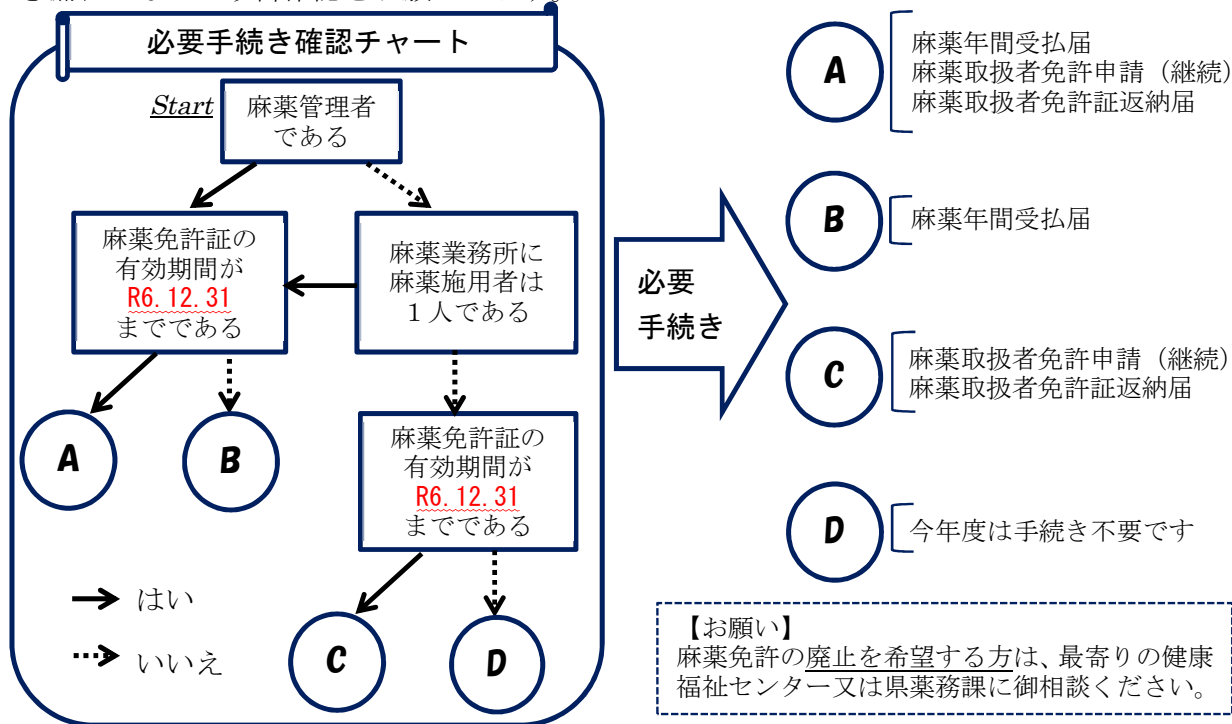


<麻薬管理者・施用者向け>

【重要】麻薬免許証をお持ちの方へ～手続きの御案内（山口県業務課）～

麻薬取扱者は、10月から1月にかけて所定の手続きが必要となります。以前は、郵送等にて御案内しておりましたが、**現在は郵送での御案内はしていません。**

必要な手続きは免許種別や免許取得年等によって異なります。以下のチャートを参照し、手続き漏れのないよう御確認をお願いします。



【各手続き詳細】

麻薬年間受払届	麻薬取扱者免許申請（継続）	麻薬取扱者免許証返納届
<p>◆対象者 チャート中 A、B 該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬年間受払届 2部 (正本1部、副本1部)</p> <p>◆提出期限 令和6年11月30日</p>	<p>◆対象者 チャート中 A、C 該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬取扱者免許申請書 1部※ ・診断書(1ヵ月以内に作成されたもの) 1部※ ・(変更時のみ)麻薬保管設備等図面 1部※ ・手数料(県証紙) 4,300円分 ※下関保健所に提出時は2部(正副1部ずつ)</p> <p>◆提出目安時期 令和6年11月30日まで</p>	<p>◆対象者 チャート中 A、C 該当者</p> <p>◆提出物 ・麻薬取扱者免許証返納届 1部※ ・有効期間が満了した麻薬免許証 1部※ ※下関保健所に提出時は2部(正副1部ずつ)</p> <p>◆提出期間 令和7年1月1日～15日 (年始は1月6日から開庁します)</p>

【留意事項】

- 各様式は、山口県業務課のHP又は最寄りの健康福祉センターで入手してください。山口県業務課のHP内「麻薬関係手続きについて（既免許者向け）」のページには、記載例も掲載しています。(https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/48/101545.html)
- 提出窓口及び新免許証受け取り窓口は、管轄の健康福祉センター又は下関市立下関保健所です。開庁時間（平日8：30～17：15(12月29日から1月3日までを除く)）にお越しくください。提出は郵送も可。
- 新免許証は12月16日(月)以降に受け取りにお越しくください。**ただし、御提出の遅れや不備事項があった場合には、新免許証のお渡しが遅くなる場合があります。

※麻薬業務所が防府市内にある方へ
12月19日(木)13時～16時のみ、防府保健所での新免許証受け取りが可能です。防府保健所での受け取りを希望する場合は、麻薬取扱者免許申請書（継続）の余白部分にその旨を記載してください。

★お問い合わせ窓口★

各健康福祉センター(岩国、柳井、周南、山口、宇部、長門、萩)
※下関市内の事業者の方は県業務課へお問い合わせください。
(詳細は右記QRコードをご参照ください。)



業務課 HP

お知らせ

獣医学科創立80周年記念獣医学特別セミナーの開催について

山口大学共同獣医学部から開催案内がありました。(別添募集チラシ)

- 開催日時：令和6年10月26日(土) 10:00～12:00
- 開催場所：山口大学共同獣医学部icover 1階 101教室
- 演 題：アメリカの現場から考える、日本の獣医医療の展望
- 講 師：添田 晋吾先生(米国・The Humane Society of New York)

お知らせ

今後の主な行事(予定)

- 10月2日 ・山口大学共同獣医学部慰霊祭(山口大学)
- 10月18日 ・中国地区獣医師会連合会会長会議(松江市)
- 10月19日～20日 ・中国地区獣医師大会・獣医学術中国地区学会(松江市)
- 10月24日 ・総務委員会(小郡地域交流センター)
- 10月31日 ・第1回支部長会議(小郡ふれあいセンター)
- 11月7日 ・第3回理事会(小郡ふれあいセンター)
- 11月10日 ・産業動物講習会(防長苑)
- 11月12日 ・第72回和牛共進会(山口市中央家畜市場)
- 11月13日 ・第44回ホルスタイン共進会(山口市中央家畜市場)
- 11月23日 ・獣医公衆衛生講習会(防長苑)

事務局だより

- 9月4日 ・中国地区産業動物臨床講習会(広島市)
- 9月6日 ・長門大津畜産共進会(油谷旧人丸家畜市場)
- 9月20日 ・全国獣医師会会長会議(東京都)
- 9月21日 ・動物感謝デー(東京都)
- 9月26日 ・第57回動物供養祭(周南市徳山動物園)
- 9月27日 ・岩国市和牛共進会(本郷町かんば芝公園)

12月26日 事業推進会議

次回編集委員会 10月22日(火) 13:30～

山口県獣医師会会報 第761号 令和6年10月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話(083)972-1174 FAX(083)972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

山口県獣医師会 令和6年度公開講座

産業動物講習会

参加無料

演題

繁殖牛群における飼料由来 カビ毒汚染と繁殖性への影響

飼料のカビ毒汚染とその対策の重要性についてお話しさせていただきます

たかぎ みつひろ

高木光博 先生

山口大学共同獣医学部 副学部長 獣医繁殖学教授

講師

日時

令和6年11月10日（日）
13時30分～15時30分

会場

防長苑 2階 孔雀の間（山口市熊野町）

定員

60名程度 ※お申し込みが定員を超える場合は、抽選とさせていただきます

参加費

無料

申込方法

令和6年10月25日(金)までに、メール又はFAXに
次の事項を記入してお申し込みください。

- ①氏名 ②住所（又は勤務先） ③郵便番号
④電話番号（日中つながる番号） ⑤メールアドレス

申込み・問い合わせ先

公益社団法人山口獣医師会

〒754-0002 山口市小郡下郷1080-3

電話：083-972-1174（平日9～17時）

FAX：083-972-1554

ホームページ：<http://www.yamaguchi-vet.or.jp/>

メールアドレス：yama-vet@abeam.ocn.ne.jp



令和6年度 市民公開講座

参加費無料

主催：公益社団法人山口県獣医師会

演題

法獣医学と動物福祉学の紹介 ～人・動物・環境の健康を守る～

講師

うしね なな
牛根奈々 先生

山口大学共同獣医学部
One Welfare教育研究センター 助教



日時

令和6年11月23日(土)
13時30分～15時30分

会場

防長苑 2階 孔雀の間(山口市熊野町)

定員

60名程度 ※お申し込みが定員を超える場合は、抽選とさせていただきます

参加費

無料

申込方法

令和6年11月8日(金)までに、メール又はFAXに
次の事項を記入してお申し込みください。

- ①氏名
- ②住所(又は勤務先)
- ③郵便番号
- ④電話番号(日中つながる番号)
- ⑤メールアドレス

申込み・問い合わせ先

公益社団法人山口県獣医師会

〒754-0002 山口市小郡下郷1080-3

電話：083-972-1174 (平日9～17時)

FAX：083-972-1554

ホームページ：<http://www.yamaguchi-vet.or.jp/>

メールアドレス：yama-vet@abeam.ocn.ne.jp



獣医学科創立80周年記念 獣医学特別セミナー

アメリカの現場から考える、 日本の獣医医療の展望

添田 晋吾 先生

(米国・The Humane Society of New York)

2024年 10月 26日 (土) 10:00 - 12:00

iCOVER1階 101教室



このセミナーではアメリカ・ニューヨークの動物病院の現状について説明し、アメリカの獣医師の業務内容や働き方についてお話しします。また、アメリカで獣医師の免許を取得するためのステップについて説明していきます。さらに英語の習得を目指している方へのアドバイスや私が実際に行った勉強法もお伝えします。

連絡先： 佐藤晃 (5905)、下田 (5888)、羽原 (5909)